



鏡野町長
山崎 親男

新年あけましておめでとうございます。皆様が健やかに新年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

また、平素より、町政運営に多大なご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

元号が平成から令和へと移り変わり、初めての新年を迎えました。「令和」の由来は、万葉集の文言から引用されたもので、「日本の四季折々の文化と自然をこれからの世代にも引き継いでいきたい。」という思いが込められているそうです。鏡野町においても四季折々の美しい景観、人と人とのつながりや助け合いの中で育まれた文化や歴史、産業が融合しながら現在の鏡野町があります。

これからも未来のために私たちが何をすべきか、それはどう行動すればよいかを皆様と一緒に考え、希望に満ちた新しい時代を進んでいきたいと存じます。

さて、昨年四月よりスタートしました国の森林経営管理制度を踏まえて、放置森林の解消を促進し、次世代へ鏡野町の豊かな森林を継承していくために「森林に関する総合的な窓口」として、奥津振興センター内に「鏡野町森林づくりセンター」を開設しました。今後は、国から交付される森林環境譲与税を有

効に活用し、林業の振興施策に重点的に取組んでいきたいと考えています。

また、昨年十一月に全線開通しましたトレッキングコース「高清水トレイル」は、人形峠を発着点に、岡山県・鳥取県境を尾根に沿って歩く全長8kmのコースで四季折々の豊かな自然が広がり、天候に恵まれれば、大山や日本海まで一望できます。皆様も是非一度、ご家族、お友達等をお誘いのおえ心地よい汗を感じてみてください。

このように本町には、いろいろな体験をして楽しめる施設、季節ごとに移り変わる美しい景観があります。本年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、多くの外国の方が来日されます。これを契機といたしまして、一人でも多くの方が、「美しい鏡野町」に来町していただくことを期待しています。

これまで第二次総合計画（前期計画）に基づき、健康づくり、子育て支援等の様々な施策に力を注いでまいりましたが、令和二年度は後期計画の策定年度となります。次代を担う子どもたちが将来に希望をもてるまち、誰もが住んで良かった、住み続けたいと感じられるまちとなりますよう皆様と協力して、計画を策定したいと思っております。引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

結びになります。本年が皆様にとりまして幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ



鏡野町議会 議長
沖田 清明

新年あけましておめでとうございます。

令和2年の年頭にあたり議会を代表いたしましたして、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、1月の竹下通りでの車暴走をかわきりに池袋、大津などで発生し、あおり運転も大きな話題となるなど、社会の新たな問題が提起され、また、全国各地で大規模災害が頻発し、改めて防災対策が問われる年となりました。

また、元号が「令和」に変わり、消費税が10%に引き上げられ、私たちの生活に直結した変革があった中、新たに天皇陛下がご即位をされ、ラグビーワールドカップでは日本代表が8強に入るなど、明るく、心強いニュースもありました。

鏡野町議会におきましては、4月に議会構成が変わり、開かれた議会

改革を推進しております。その一環として、鏡野町議会だより「かしの木」の発行を開始し、「開かれた議長室」の開催も始めました。今後も、車いすを利用されている方も議会が傍聴しやすいよう議場改修をするなど、議会改革を進めて参ります。

町の具体的政策を最終的に決定するだけではなく、行財政の運営、実施などを町民の立場に立って批判、監視をし、町民の声を的確に反映させることが町議会の責務であると考えております。議員自らが研鑽を重ね、活力ある町づくりに新たな決意を持って取り組み、住民福祉の向上にむけて、ワンチームで努力して参る所存であります。

新年を迎えるにあたり、心を新たに、心が躍進の年となるよう、議会も町民の皆様と共に歩んで参りたいと思っております。

本年も皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

